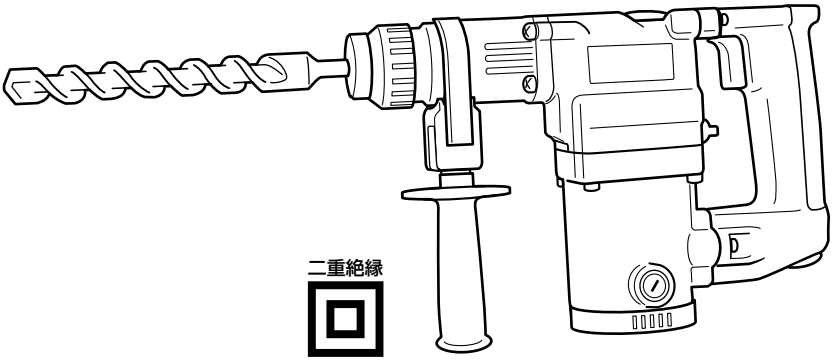
HiKOKI

ロータリハンマドリル

25 mm DH 25PB

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended.No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目　次

ページ
電動工具の安全上のご注意 …… 2
ロータリハンマドリルの使用上のご注意 …… 5
各部の名称 …… 6
仕様 …… 7
標準付属品 …… 7
別売部品 …… 8
用途 …… 12
作業前の準備 …… 13
ご使用前に …… 14
使い方 …… 15
コアビット（軽負荷用）の取扱い方法 …… 21
グリースの交換について …… 23
保守・点検 …… 24
ご修理のときは …… 裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

注　：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
電動工具を使用中、身体を、アース (接地) されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⚠警告

⑨ 保護メガネを使用してください。
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 継ぎ (延長) コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ (延長) コードを使用してください。
屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ (延長) コードを使用してください。

⚠警告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に 回 マークで表示してあります。
純正品以外の部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

ロータリハンマドリルの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ロータリハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

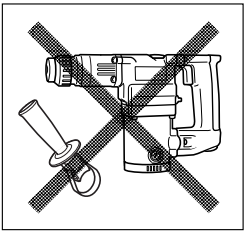
⚠警告

① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。

② **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

③ **使用中、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。

③



④ **使用中は、工具類や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⑤ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑥ **誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑦ **シリカや石綿（アスベスト）は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。**

⚠注意

① **工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

③ **作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。**

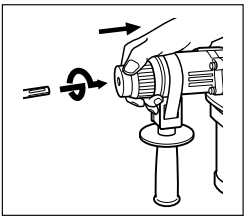
④ **作業直後の工具類は高温になっているので、触れないでください。**
やけどの原因になります。

⑤ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。**
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

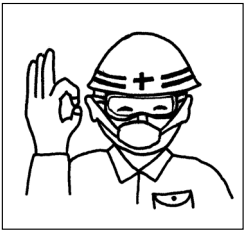
⑥ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

⑦ **作業の際、機体を無理に押し付けないでください。**
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。

①



③



各部の名称

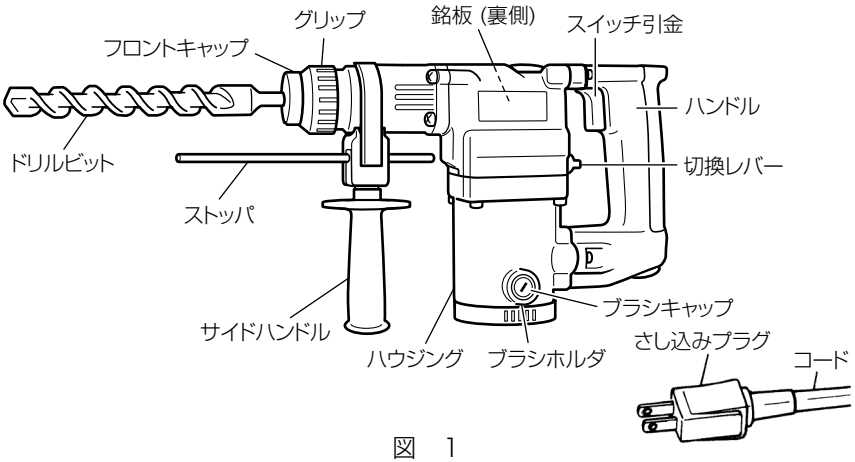


図　1

仕　　様

使　用　電　源	単相交流 50 / 60 Hz 共用　電圧 100 V
穴あけ能力	コンクリート 3.4 mm ～ 25 mm 鉄工 13 mm、木工 32 mm
全負荷電流	6.6 A
消　費　電　力	630 W
無負荷回転数	0 ～ 1,100 min^{-1} {回 / 分}
全負荷打撃数	0 ～ 4,000 min^{-1} {回 / 分}
モ　ー　タ　ー	単相直巻整流子モーター
質　　量	3.4 kg (コード、サイドハンドルを除く)
コ　　ー　　ド	2 心キャブタイヤケーブル 5 m
振動 3 軸合成値※1	回転 + 打撃 16.1 m/s^2 ※2

※1 : 振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、JEMA［一般社団法人日本電機工業会］
ウェブサイト : http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html
をご参照ください。
※2 : 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-6 規格に基づき測定しています。

標準付属品

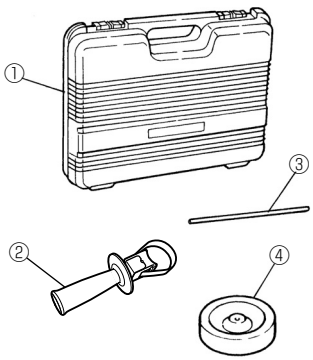


図　2

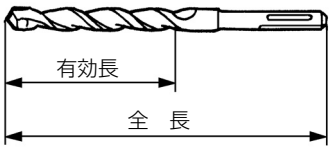
① プラスチックケース ･････････････････ 1 個
② サイドハンドル ･････････････････････ 1 個
③ ストッパ ･････････････････････････ 1 個
④ ダストカップ ･････････････････････ 1 個

別売部品

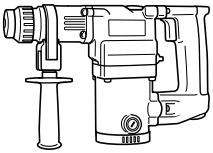
（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

1. アンカー下穴作業（回転＋打撃）

ドリルビット（SDS－プラスシャンク）



＋

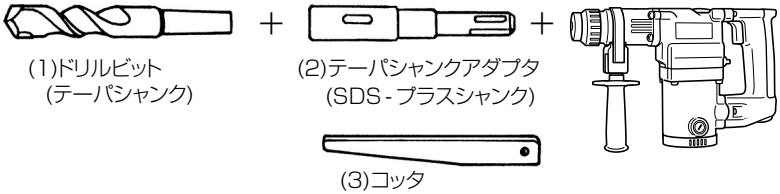


<table>
<tr><th>外径(mm)</th><th>全長(mm)</th><th>有効長(mm)</th><th>外径(mm)</th><th>全長(mm)</th><th>有効長(mm)</th></tr>
<tr><td>4.0</td><td rowspan="4">110</td><td rowspan="4">50</td><td rowspan="2">12.5</td><td>166</td><td>100</td></tr>
<tr><td>4.3</td><td>260</td><td>200</td></tr>
<tr><td>4.5</td><td rowspan="2">12.7</td><td>166</td><td>100</td></tr>
<tr><td>4.8</td><td>260</td><td>200</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5.0</td><td></td><td></td><td>13.0</td><td rowspan="3">166</td><td rowspan="3">100</td></tr>
<tr><td>160</td><td>100</td><td>14.0</td></tr>
<tr><td>5.5</td><td rowspan="2">110</td><td rowspan="2">50</td><td rowspan="2">14.3</td></tr>
<tr><td>6.0</td><td>260</td><td>200</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6.4</td><td rowspan="12">160</td><td rowspan="12">100</td><td rowspan="2">14.5</td><td>166</td><td>100</td></tr>
<tr><td>260</td><td>200</td></tr>
<tr><td>6.5</td><td>15.0</td><td rowspan="2">166</td><td rowspan="2">100</td></tr>
<tr><td>7.0</td><td rowspan="2">16.0</td></tr>
<tr><td>7.5</td><td>260</td><td>200</td></tr>
<tr><td>8.0</td><td>16.5</td><td rowspan="2">166</td><td rowspan="2">100</td></tr>
<tr><td>8.5</td><td rowspan="2">17.0</td></tr>
<tr><td>9.0</td><td>260</td><td>200</td></tr>
<tr><td>9.5</td><td rowspan="2">17.5</td><td>166</td><td>100</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10.0</td><td>260</td><td>200</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>18.0</td><td>166</td><td>100</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10.5</td><td>160</td><td>100</td><td>19.0</td><td>260</td><td>200</td></tr>
<tr><td>260</td><td>200</td><td>20.0</td><td rowspan="3">250</td><td rowspan="3">200</td></tr>
<tr><td>11.0</td><td>160</td><td>100</td><td>22.0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12.0</td><td>166</td><td>100</td><td>24.0</td></tr>
<tr><td>260</td><td>200</td><td>25.0</td><td>450</td><td>384</td></tr>
</table>

細径ビット・細径ビット用アダプタ (SDS－プラスシャンク)

細径ビット		
外径 (mm)	全長 (mm)	有効長 (mm)
3.4	90	45
3.5		

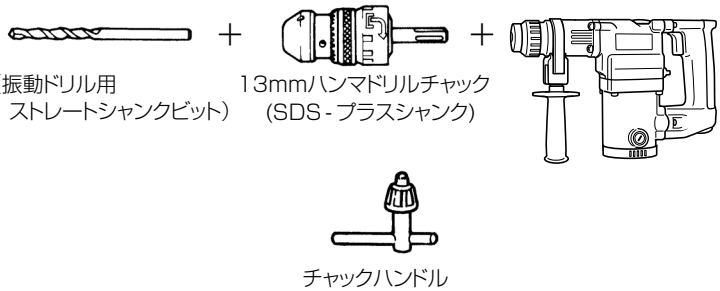
ドリルビット (テーパシャンク)



(1) ドリルビット (テーパシャンク)		(2) テーパシャンクアダプタ
外径	11、12.3、12.7、14.3、14.5、17.5 mm	モールステーパ No.1
外径	21.5 mm	モールステーパ No.2

13 mm ハンマドリルチャック

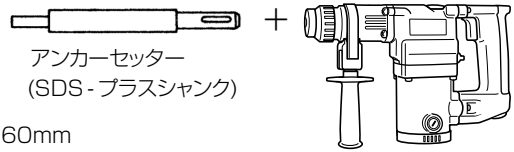
ロータリハンマドリルで振動ドリル用ストレートシャンクビットを使用しての穴あけ作業用



2. アンカー打込み作業

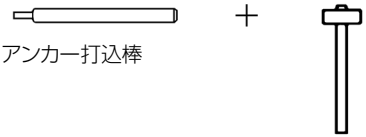
アンカー打込棒

ロータリハンマドリルに取付けてアンカーを打込む時に使用する打込棒



くさび外装メネジ形アンカー用		くさび内装メネジ形アンカー用	
W − 1/4	アンカーセッター A	W − 1/4	アンカーセッター B
W − 5/16	アンカーセッター A	W − 5/16	アンカーセッター B
W − 3/8	アンカーセッター A	W − 3/8	アンカーセッター B

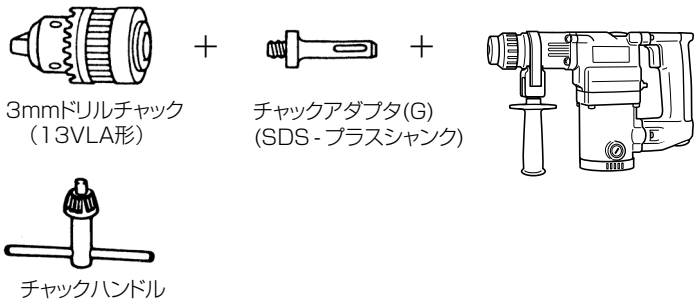
手ハンマでアンカーを打ち込む時に使用する打込棒



くさび外装メネジ形アンカー用		くさび内装メネジ形アンカー用	
W − 1/4	アンカー打込棒 A	W − 1/4	アンカー打込棒 B
W − 5/16	アンカー打込棒 A	W − 5/16	アンカー打込棒 B
W − 3/8	アンカー打込棒 A	W − 3/8	アンカー打込棒 B
W − 1/2	アンカー打込棒 A	W − 1/2	アンカー打込棒 B
W − 5/8	アンカー打込棒 A	W − 5/8	アンカー打込棒 B

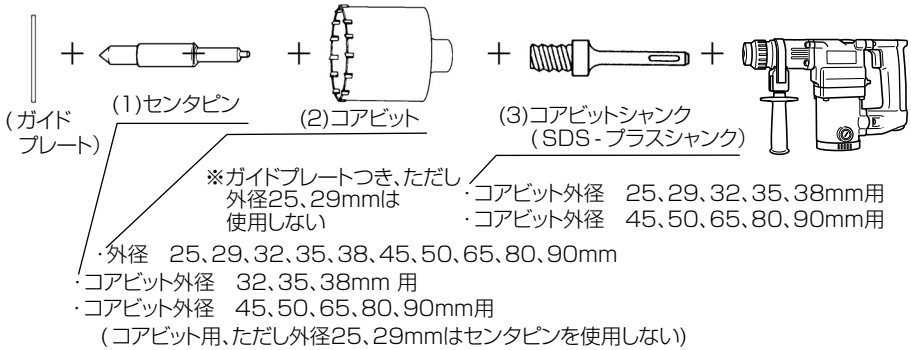
3. ケミカルアンカー用ボルト打込み作業 (回転 + 打撃)

4. ドリル穴あけ作業 (回転のみ)…… 金属、木材の穴あけ用

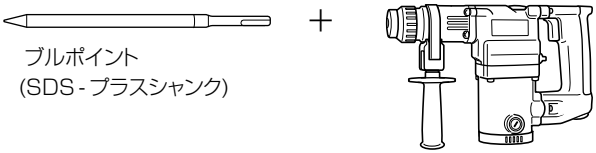


5. 大穴径作業 (回転 + 打撃)

コアビット (軽負荷用)

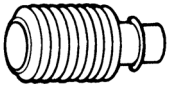


6. 破砕作業 (回転 + 打撃)



7. 集じんカップ (B)

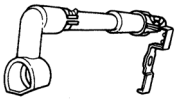
集じんカップ (B)



8. 電動工具用集じん機

本製品は、電動工具用集じん機に接続して使用することができますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

ロータリハンマドリル用集じんアダプタ



用　　途

[回転＋打撃]

○ アンカー下穴の穴あけ
○ コンクリートの穴あけ
○ タイルの穴あけ

[回転のみ]

○ 金属、木材の穴あけ
（別売部品を使用）

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認……

この製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. 継ぎ（延長）コード……

⚠警告

- **継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm^2	15 m
2 mm^2	25 m
3.5 mm^2	45 m

左の表は、使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

3. 作業環境の整備・確認……

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠警告

- **ご使用前に次のことを確認してください。1 ～ 2 項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1. 使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと、不意に起動し、思わぬ事故の原因になります。スイッチはスイッチ引金 (図 1 参照) を引くと入り、はなすと切れます。

スイッチの引金を引き、はなしたとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3. 電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

4. 回転数の調整……

回転数は、スイッチ引金の引き方により 0 ～ 1,100 min^{-1} {回 / 分} まで調整できます。

スイッチ引金を引くにしたがって回転が上がり、一杯に引いたときに 1,100 min^{-1} {回 / 分} になります。

5. スリップクラッチ機構……

本機は、スリップクラッチ機構を内蔵しています。

この機構は、急激に大きな負荷がかかったとき、モーターとビットの間の伝達部をスリップさせて、直接大きな反力がかかることを防止するものです。

注 **• スリップクラッチが作動し、ビットの回転が停止した場合には、すみやかにスイッチを切ってください。**

使　い　方

⚠警告

- **ドリルビットや各種部品の取付け・取りはずし、および作業中断時や作業後は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**

1. " 回転 + 打撃 " モードでご使用の場合……

⚠警告

- **ドリルビットが鉄筋などに当たると急にドリルビットが止まり、その反動で機体が回ろうとします。サイドハンドルとハンドルをしっかり握って作業してください。**

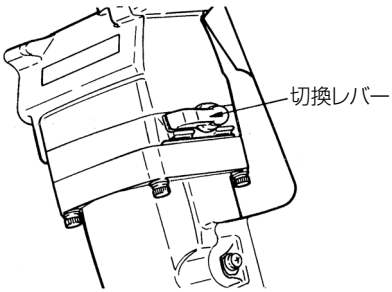


図　3

切換レバーを反時計方向 (" ⚡T " マーク側) 一杯に回すと " 回転 + 打撃 " にセットできます。(図 3)

コンクリートや石材、タイル、レンガなどに穴あけする場合は、このモードにしてご使用ください。また、スイッチ引金を引くにしたがって、工具の回転数を 0 ～ 1,100 min^{-1} {回 / 分} に変化させることができます。タイル、レンガなどのもろい材料への穿孔は低速でお使いください。割れが入りにくくなります。コンクリートなどには高速でお使いください。

(1) ドリルビットの取付け・取りはずし

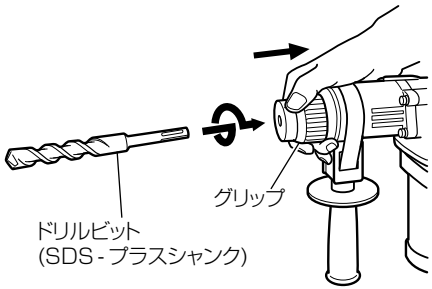


図　4

ドリルビットは、弊社指定の別売部品をご使用ください。

ドリルビット (SDS －プラスシャンク) の取付けは、図 4 のようにグリップを矢印方向へ一杯に引き、ドリルビットを回しながら奥に突き当たるまでさし込みます。

グリップをはなすとグリップが戻り、ドリルビットを固定します。

ドリルビットを取りはずすときは、グリップを矢印方向へ一杯に引き、ドリルビットを引き抜きます。

(2) 穴のあけ方

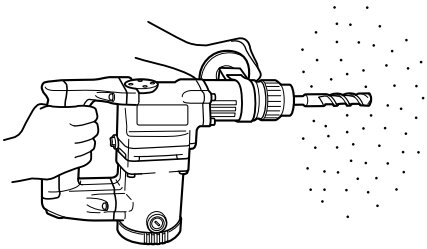


図　5

（イ）　穴あけ位置にドリルビットの先を当ててからスイッチを入れます。

（ロ）　機体を無理に押しつける必要はありません。切粉が軽く出る程度に押しつけるだけで十分です。

2. " 回転のみ " モードでご使用の場合……

⚠警告

- **使用中、振り回されないように、サイドハンドルとハンドルをしっかり握って作業してください。**

- 本機は、切換レバーを操作して、" 回転のみ " に切換えることができます。
  " 回転のみ " のみに切換えてから、ドリルチャック、チャックアダプタ (別売部品) を取付けて、金属、木材の穴あけにご使用ください。

(1)" 回転のみ " への切換え

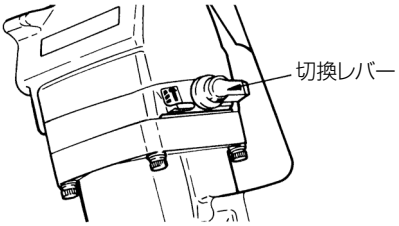


図　6

切換レバーを時計方向 (" ⚡ " マーク側) 一杯に回すと " 回転のみ " にセットできます。(図 6)

(2) ドリルチャック、チャックアダプタの取付け方

（イ） ドリルチャックにチャックアダプタを取付けます。

（ロ） チャックアダプタの SDS －プラスシャンク部は、ドリルビットと同じです。したがって、取付け・取りはずしは、15 ページの「(1) ドリルビットの取付け・取りはずし」と同じ要領で行ってください。

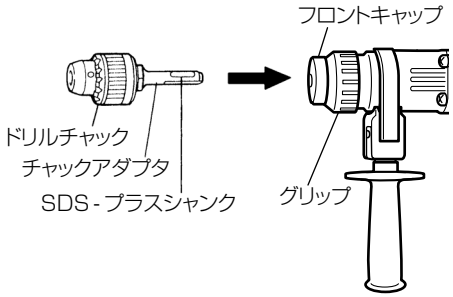
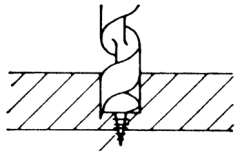


図 7

注 • **チャックアダプタを使用して " 回転 + 打撃 " の作業はしないでください。故障の原因になります。**

(3) 木材への穴のあけ方



先端が出たところで裏返しする

図　8

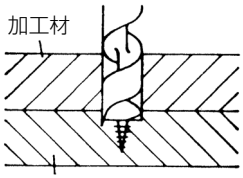


図　9

○ 木材・プラスチックなどの穴あけは、切換レバーを " ⁞ " マーク (" 回転のみ ") 側にして作業してください。
○ 錐先を穴あけ位置に当て、穴の方向に対してまっすぐに保ってからスイッチを入れます。
○ 木材に通し穴をあける場合は、錐の先端が裏に少し出たとき、裏返して裏側からあけると、きれいにあきます。(図８)
また、下側に不要な木材を置き、一緒にあけてもきれいにあきます。(図９)
○ 木工錐は、先端のねじ部で食込んでいきますから、強く押しつける必要はありません。
無理な力をかけても決して早く穴はあきません。

(4) 金属への穴のあけ方

⚠警告

- **金属に穴をあける場合、穴のぬけぎわに大きな力がかかり、錐がドリルチャックからすべることがあります。このような場合は、工具の押しつけ力を弱め、錐がすべらないようにしてください。**

○ 金属の穴あけは、切換レバーを " ⁞ " マーク (" 回転のみ ") 側にして作業してください。
○ 鉄工錐を使って金属に穴をあける場合は、穴あけ位置に前もってセンタポンチを打っておきますと錐先がすべらず安定して穴をあけられます。
○ 金属に穴をあけるときは、ミシン油か石けん水を筆や歯ブラシなどで錐につけると、錐が長持ちします。
○ 必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。かえって錐先をいためて作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命も短くなります。

3. ストッパの使い方……

(1) ストッパを取付ける

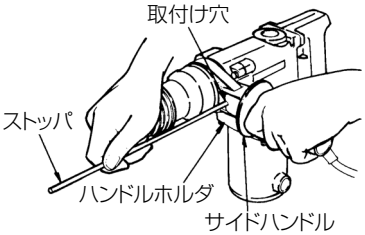


図　10

(イ)　サイドハンドルをゆるめ、ハンドルホルダの取付け穴にストッパの直線部をチャック部側よりさし込みます。

(ロ)　ストッパは、サイドハンドルをゆるめた状態で所定の位置に移動させ、サイドハンドルを時計方向に回して固定します。

4. ダストカップを付ける場合……

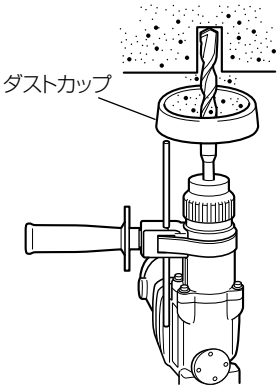


図　11

上向き作業をする場合は、ドリルビットに付属のダストカップを取付けて、ご使用ください。切粉の落下が少なく、作業がしやすくなります。

太径のドリルビットの場合は、ダストカップの中央の穴をドリルビットでひろげてご使用ください。

注
- **ダストカップは、コンクリートの穴あけ専用です。金属、木材の穴あけには、使用しないでください。**
- **粉じんは穴あけ２～３本ごとに捨ててください。**

5. ドリルビット (テーパシャンク)、テーパシャンクアダプタの使い方……

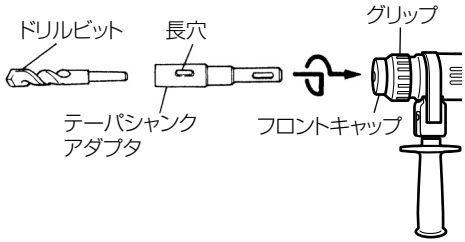


図　12

(1)　テーパシャンクアダプタを本機に取付けます。(図 12)
(15 ページの「(1) ドリルビットの取付け・取りはずし」参照)

(2)　テーパシャンクアダプタにドリルビット (テーパシャンク) を取付けます。(図 12)

(3)　スイッチを入れ、所定の深さに穴をあけます。

(4)　ドリルビット (テーパシャンク) の取りはずしは、テーパシャンクアダプタの長穴部分にコッタを入れ、下に台を置いてコッタの頭を手ハンマでたたいてください。(図 13)

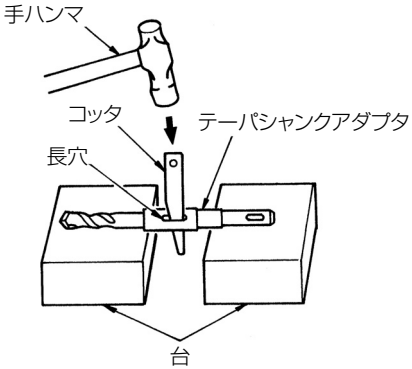


図　13

6. 集じんカップ (B) (別売部品) を付ける場合……

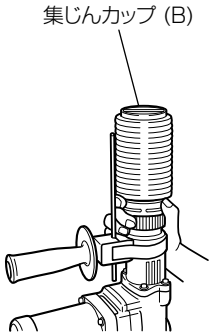


図　14

上向き作業をする場合は、付属のダストカップまたは集じんカップ (B) を取付けますと、切粉の落下が少なく、作業がしやすくなります。

〔集じんカップ (B) の取付け方〕

集じんカップ (B) を使用する場合は、ドリルビットを取付けた後、集じんカップ (B) を図 14 のように先端から押し込んでください。

注
- ダストカップおよび集じんカップ (B) は、コンクリートの穴あけ専用です。金属、木材の穴あけには、使用しないでください。
- 集じんカップ (B) はフロントキャップに密着するよう十分に押し込んでください。
- 集じんカップ (B) をコンクリート面からはなした状態でスイッチを入れると、集じんカップ (B) がドリルビットと一緒に回転してしまい、集じんカップ (B) がグリップ部からはずれることがあります。
  必ずコンクリート面に押しつけてからスイッチを入れてください。
  〔全長 190 mm 以上のドリルビットと共に集じんカップ (B) を使用しますと、集じんカップ (B) がコンクリート面に接触せず、回転してしまいます。集じんカップ (B) は全長 166 mm、160 mm、110 mm のドリルビット用としてご使用ください。〕
  (7 ページの別売部品の項参照)
- 粉じんは穴あけ 2 ～ 3 本ごとに捨ててください。
- ドリルビットの交換は集じんカップ (B) をはずしてから行ってください。

コアビット (軽負荷用) の取扱い方法

コアビット (軽負荷用) をご使用になりますと、大口径の貫通穴、止まり穴をあけることができます。このときは、センタピン、コアビットシャンクなどコアビット用別売部品をご使用ください。

1. 取付け方……

⚠警告

- **万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

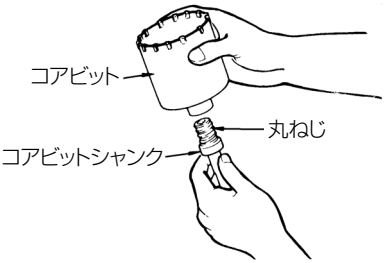


図　15

(1)　コアビットシャンクにコアビットを取付けます。(図 15)
　このときコアビットシャンクの丸ねじ部に油を塗布してください。
　分解するときに丸ねじ部がゆるみやすくなります。

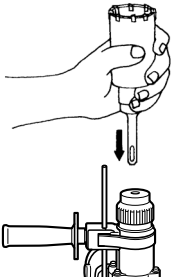


図　16

(2)　コアビットシャンクを本機に取付けます。(図 16)
(15ページの「(1) ドリルビットの取付け・取りはずし」を参照してください。)

(3)　ガイドプレートにセンタピンを奥までさし込みます。

(4)　ガイドプレートの凸部をコアビットのチップとチップとの間にあわせてはめ込みます。左・右どちらかに回して凸部をずらすと下向きにしても落ちません。
(図 17)

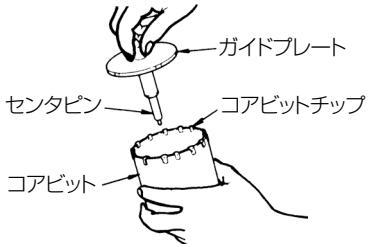


図　17

2. 穴のあけ方……

⚠警告

- **センタピン、ガイドプレートを取りはずす場合には、スイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。**

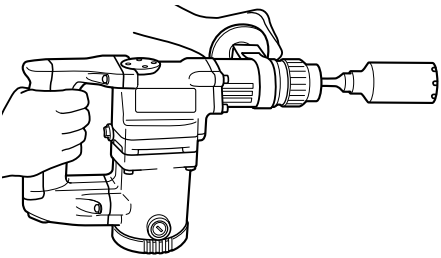


図　18

(1)　電源にさし込みプラグをさし込みます。

(2)　センタピンにはスプリングが内蔵されています。壁、床などにまっすぐに軽く押しつけて、コアビットチップ全面を接触させ、穴あけ開始します。

(3)　約 5 mm 穿孔すると位置決めできますから、そのあとはコアビットからセンタピン、ガイドプレートを取りはずして穴あけします。

(4)　機体に必要以上に力をかけても、決して早く穴はあきません。かえって錐先をいためて、作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命低下につながります。本機をささえる程度の軽い押しつけ力で穴あけしてください。

3. コアビットの取りはずし方……

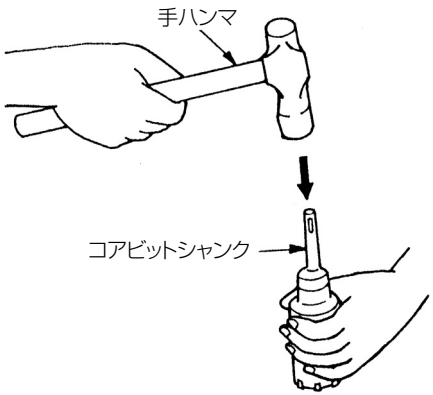


図　19

本機からコアビットシャンクをはずしコアビットを手で持ち、コアビットシャンクの頭を手ハンマで２～３回強打すると、丸ネジがゆるみ取りはずすことができます。

グリースの交換について

本機はグリース密封構造となっておりますので、ほこりの侵入を防ぎ、グリースは漏れない構造となっております。従って、長期間無給油で使用できます。しかし、本機を長持ちさせるために定期的にグリースの交換をしてください。

○ グリースの交換時期

お買い求めになられてから１年ごとに、グリースの交換をお買い求めの販売店に依頼してください。

注 **• 機体へ使用しているグリースは特殊グリースです。**
他のグリースを使用した場合、性能を著しく損なう恐れがあるので、必ずグリースの交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

保守・点検

⚠警告

- **点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**

1. 工具の点検……

摩耗した工具をそのまま使用するとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに研磨するか新品と交換してください。

2. カーボンブラシの点検

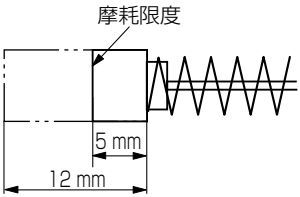


図　20

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度 (5 mm ぐらい) になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 **• 新品と交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。**

交 換 方 法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ (図 1 参照) をはずしますと取出せます。

3. 機体の点検……

各部部品の取付けに、ガタつきやねじのゆるみがないか定期的に点検してください。

ねじがゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります

異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

4. モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり、洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 **• モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。ご使用後は、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの端部の風穴から吹き込んでください。ごみやほこりの排出に効果があります。**

5. 製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
○軒先など雨がかかったり、湿気のある場所
○温度が急変する場所
○直射日光の当たる場所
○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

メ　モ

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	製造番号 (NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00 ～ 17：00

●フリーダイヤル
0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783－0626	TEL (076) 263－4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896－1740	TEL (0798) 37－2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288－8676	TEL (082) 504－8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738－0872	TEL (087) 863－6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533－0231	TEL (092) 621－5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html

WEB に
アクセス

バーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)
営業本部　TEL (03) 5783-0626（代）

電動工具ホームページ ――http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/

部品コード　C99099002　806 N